

UiPath-ABAv1_JPN

UiPath 認定オートメーション ビジネス アナリスト プロフェッショナル資格試験 v1.0

試験記述文書

試験概要	3
想定受験者	3
最小限の資格を有する候補	4
製品	4
試験範囲	5
試験項目	5
UiPath 実装手法	5
ロボティックプロセスオートメーション (RPA) の基礎	5
プロセスの検出	5
プロセスの分析	6
UAT の計画、デプロイ、ハイパーケア	6
UiPath Platform	6
UiPath のコア ソリューション	6
AI UiPath のソリューション	7
リファレンスされる環境、アプリケーション、およびツール	8
推奨トレーニング	9
推奨試験準備	11
試験の詳細	12

重要な注意点

不正行為や誤った情報の兆候がないか、インターネット上におけるあらゆる活動を監視しています。

UiPath は、**偽の試験や情報を** ユーザーに販売している多数の悪徳サイトがあることを認識しています。実際の試験が漏洩した場合、直ちに対策を講じます。 **このような悪徳サイトのサービスの購入はしないようお願いします。**

試験概要

UiPath 認定オートメーション ビジネス アナリスト プロフェッショナルは、UiPath ビジネス アナリストのガイドラインに基づいて設計されており、要件の収集、プロセス検出、プロセス分析、UiPath Solution Suite ソリューションを使用したオートメーションの設計と実装に関する知識とスキルを評価することを目指しています。

UiPath 認定オートメーション ビジネス アナリスト プロフェッショナルは、業務プロセス オートメーションに関する幅広い知識と実務経験を有する中堅のビジネス アナリストを対象とした資格です。UiPath 認定オートメーション ビジネス アナリスト プロフェッショナルの取得を考える方は、UiPath アカデミーによるトレーニングの受講とアソシエイトレベルのデベロッパー 認定を取得済み、もしくはそれ相当のオートメーション知識を備えていることが推奨されます。

UiPath 認定オートメーション ビジネス アナリスト プロフェッショナルは、オートメーション ビジネス アナリスト、プロジェクト マネージャー、ソリューション アーキテクト、変更/変換 マネージャーなどのロールに推奨されます。

想定受験者

UiPath オートメーション ビジネス アナリスト プロフェッショナル v1.0 の試験の受験対象者には以下が含まれます。

- プロセスの自動化ドメインでの経験と知識を強調することを目的とする、実績を持つビジネス アナリスト

- オートメーション ビジネス アナリスト、プロジェクト マネージャー、ソリューション アーキテクト、変更/変換 マネージャーなど、ビジネス分析の専門知識が高く評価されるロールです。

最小限の資格を有する候補

最低限の受験資格を持つ候補者は次の項目が含まれます。

- ビジネス アナリストとしての 2 年以上の経験、UiPath ソリューションを使用した 5 つ以上のオートメーション プロジェクトに参加した実績
- BABOK® (Business Analyst Body of Knowledge®) に記載されているビジネス分析のベストプラクティスと基準に関する詳細な知識、またはそれに相当する知識
- 新しいオートメーション プロジェクトの要件を収集、分析し、既存のプロセスを改善するための知識/スキル、技術的な概念に通じていること

製品

試験に含まれる製品:

- オートメーションのソリューション
 - UiPath Studio バージョン 2022.10
 - UiPath Robot バージョン 2022.10
 - UiPath Orchestrator バージョン 2022.10
- AI ソリューション
 - UiPath Document Understanding
 - Re:infer
 - Chatbots
 - UiPath Insights
 - UiPath Apps
 - UiPath AI Center
- ディスカバリー ソリューション
 - UiPath Process Mining
 - UiPath Task Mining
 - UiPath Task Capture
 - UiPath Automation Hub

試験範囲

UiPath オートメーションビジネス アナリスト プロフェッショナル v1.0 試験には、以下の試験セクションがあります。

- UiPath 実装手法
- ロボティックプロセスオートメーション (RPA) の基礎
- プロセスの検出
- プロセスの分析
- UAT の計画、デプロイ、ハイパーケア
- UiPath Platform
- UiPath のコア ソリューション
- AI UiPath のソリューション
- ディスカバリー UiPath のソリューション

試験項目

最小限の資格を有する候補によって実行されるタスク:

UiPath 実装手法

- UiPath オートメーションの実装手法のステージ、ルール、および終了基準について説明する
- オートメーションの実装時にビジネスアナリストが生成した成果物について説明する
- オートメーションを実装する際のビジネスアナリストの成功基準について説明する

ロボティックプロセスオートメーション (RPA) の基礎

- RPA の定義、動作のしくみ、およびそのメリットを説明する
- 組織レベルのプロセス (メタプロセス、プロセス、サブプロセス、タスク) のタクソノミーを説明する)

プロセスの検出

- 自動化の見込みを評価するために使用する主な基準、手法、ツールについて説明する

- 自動化の見込み基準 (ルールベース、反復、構造化された入力、安定性など) の説明
- プロセス評価ツールを使用して自動化の見込みを評価する方法について説明する
- 自動化案件作成の受付方法 (受付フォーム、Automation Hub、プロセス評価ツール) について説明する
- 優先順位付け基準の使用法と、さまざまな組織のニーズに合わせて優先順位付け基準を調整する方法 (例: ステークホルダーからの入力値と自動見込み計算) を説明する
- 自動化案件の管理方法について説明する (プロセス評価ツールまたは Automation Hub)

プロセスの分析

- プロセス分析のベスト プラクティスを説明し、「As-Is」プロセスの文書化、マップ、記録などを分析する
- メトリックのタイプを (経済効果をはかる一般的なメトリック、業界固有、部門固有、プロセス固有) リストする
- PDD の作成プロセスについて説明する

UAT の計画、デプロイ、ハイパーケア

- テスト ケース テンプレートを使用してテスト ケース シナリオを作成する方法について説明する
 - デプロイとハイパーケア - UAT の計画と組み合わせ

UiPath Platform

- UiPath Platform の特性およびそのユース ケースの説明
- UiPath Platform の各デプロイ オプション (クラウド、オンプレミス、ハイブリッド) の特性の説明
- 製品 SKU について説明する

UiPath のコア ソリューション

- UiPath Robots (さまざまなロボットの種類とその使用方法) について説明する
 - さまざまな種類のロボットで実行されたプロセス (Attended、Unattended、人間参加型、OS でのロボットの可用性) について説明する
- ビジネス上の問題の解決に共同で使用される複数の製品のユース ケースの説明

- Studio の機能について説明する
- UiPath Studio の ReFramework (コード構造: ディスパッチャー、パフォーマー) について説明する
- セレクターの概念とその RPA での重要性について説明する
- UiPath Assistant とそのアプリケーションについて説明する
- UiPath Orchestrator の機能について説明する
- UiPath Robot のデプロイ、ライセンス付与、スケジュール設定の方法について説明する
- UiPath Orchestrator でのログのキャプチャ方法と、さまざまな種類のログ (アセット、スケジュール、キュー、ログ) について説明する

AI UiPath のソリューション

- UiPath Document Understanding の定義
- Document Understanding で処理できる構造化されたドキュメント、非構造化ドキュメント、半構造化ドキュメントを区別する
- Document Understanding プロセスについて説明する
- UiPath AI Center の定義
- AI、ML、NLP、DL、Computer Vision を識別し、違いを説明する
- チャットボットの定義
- Re:Infer の定義
 - Re:Infer をエンドユーザーとして使用するプロセスについて説明する
- UiPath Apps の定義

ディスカバリー UiPath のソリューション

- Task Mining の定義とその使用方法の種類を定義する
- Process Mining の定義とその使用方法の種類
- Automation Hub の定義とその用途
- Task Capture の内容と使用に適しているタイミングを定義する
- Task Capture を使用してタスク/プロセスを文書化し、オートメーションの概要文書を作成する方法について説明する

リファレンスされる環境、アプリケーション、およびツール

最低限の受験資格を持つ候補者は、次の環境、アプリケーション、およびツールの使用経験があることが想定されています:

- BABOK® の概要
- Microsoft Excel
- Microsoft Office Suite (Exchange や Outlook など)
- オンプレミスとクラウド
- ブラウザー (IE、Chrome など)
- UiPath Studio および UiPath Studio – Robotic Enterprise Framework
- UiPath Orchestrator
- UiPath Robot

推奨トレーニング

以下は、最低限の受験資格を持つ候補者が本試験の準備をする場合に推奨される学習教材です。

トレーニング オプション:

- [UiPath Automation Business Analyst \(Coursera \(にて受講可能\)\)](#)
-  [UiPath Academy UiPath Automation Business Analyst Foundations Learning Plan](#)

– 加えて –

試験範囲となるトピックが説明される自己学習のリソース

- [ビジネス例外とアプリケーション例外](#)
- [ロボティック プロセス オートメーション \(RPA\)](#)
- [RPA 基礎](#)
- [詳細評価を入力する](#)
- [Process Mining の概要](#)
- [Task Capture の概要](#)
- [Automation Hub](#)
- [アプリケーション テスト用のテスト ケース](#)
- [データを用いたテスト](#)
- [製品の可用性](#)
- [Orchestrator の違い](#)
- [有人オートメーションと無人オートメーション](#)
- [ライセンス](#)
- [ライセンス管理のオプション](#)
- [UiPath Automation Hub にオートメーションのアイデアを送信する](#)
- [Apps を Data Service と使用する](#)
- [プロジェクトでエンティティを使用する](#)
- [Apps の概要](#)
- [Data Service の概要](#)
- [ワークフローのデザイン](#)

- [Studio の概要](#)
- [UI 要素について](#)
- [オブジェクト リポジトリについて](#)
- [動的セレクトター](#)
- [UI Automation Next アクティビティ パッケージについて](#)
- [UiPath Assistant](#)
- [UiPath Orchestrator](#)
- [ユーザー アクセスの管理について](#)
- [キューおよびトランザクションについて](#)
- [トリガーについて](#)
- [アセットについて](#)
- [フォルダーの自動化](#)
- [UiPath Robot](#)
- [キュー アイテムのステータス](#)
- [ログについて](#)
- [Orchestrator でアセットを管理する](#)
- [トリガーを管理する](#)
- [Linux 環境のロボット](#)
- [Document Understanding の概要](#)
- [Document Understanding 正規表現ベースの抽出器](#)
- [Document Understanding フォーム抽出器](#)
- [Document Understanding のデータ抽出の概要](#)
- [Document Understanding のトレーニングの高性能モデル](#)
- [Document Understanding フレームワーク機能の概要](#)
- [AI Center - 概要](#)
- [AI Center - データのラベル付け](#)
- [AI Center - ML パッケージの構築](#)
- [Chatbots \(チャットボット\) - 概要](#)
- [Process Mining - クラウド](#)
- [Process Mining - チャート](#)
- [Process Mining - データ マネージャー](#)
- [Test Suite の概要](#)

- [Insights の概要](#)
- [Insights プロセス テンプレート](#)
- [Insights - Insights 概要](#)
- [Insights のデータ モデル](#)

推奨試験準備

推奨されるラーニングパスに加え、UiPath オートメーション ビジネス アナリスト プロフェッショナル v1.0 資格試験に備える練習問題も合わせてご活用ください。

- [練習問題](#)

試験の詳細

認定プログラム	UiPath 認定プロフェッショナル - ビジネス アナリストプログラム
資格情報	UiPath 認定オートメーション ビジネス アナリストプロフェッショナル 認定者
試験番号と試験のタイトル	UiPath-ABAv1_JPN - UiPath Automation Business Analyst Professional v1.0 Exam (Japanese)
前提条件の試験/認定資格	資格所得に必要な前提条件はありません。IIBA CBAP 認定を受けていることが推奨されます。
試験時間	90 分
合格スコア	70%
試験料金	英語版 \$300 (税別) / 日本語版 ¥42,000 (税別)

Copyright © 2023 UiPath Inc. or its subsidiaries. All Rights Reserved. UiPath およびその他の商標は、UiPath Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の所有物である場合があります。